



1. 2040年代に目指す東京の姿に向けた緑施策の展開

東京都は平成29年（2017年）に策定した「都市づくりのグランドデザイン」において掲げた「緑の総量を減らさない」という都市づくりの挑戦とともに、『未来の東京』戦略』に示した、新型コロナウイルス感染症への対応等、新たな時代の要請を踏まえた「新しい日常」にも対応した緑施策を推進していきます。

1.1. 『未来の東京』戦略ビジョン』（令和元年（2019年）12月策定）

東京都は、東京の緑の創出・保全の取組について検討し、令和元年（2019年）12月策定の『未来の東京』戦略ビジョン』において、「緑溢れる東京プロジェクト」を立ち上げ、都内全体の緑を増やす取組を進めることとしました。

このプロジェクトを強力に推進していくため、局横断的な推進体制として、副知事をリーダーとする「緑溢れる東京プロジェクト推進チーム（以下、推進チーム）」を設置するに至りました。推進チームの具体的な狙いは以下のとおりです。

- ・都の取組推進、区市町村への支援拡充、民間の誘導・規制の強化により、プロジェクトの実行を加速する
- ・具体的な施策・ステップ・スキームなどを詰める実践的な役割を担う
- ・各局連携で主体的に共同しながら、課題解決に向け取り組む

また、本ビジョンを2015年の国連サミットで採択されたSDGs（Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標）を実現するビジョンと位置づけ、各推進プロジェクトを、SDGsの目線に立って強力に推進していくこととしました。

1.2. 緑あふれる東京基金（令和2年（2020年）3月）

区市町村は、都民に最も身近な基礎的自治体として、地域における課題やサービス等の需要を把握・分析した上で、創意工夫を凝らしながら、その地域に適した多様な施策を展開しています。緑の保全・創出においても、農地や樹林地等の緑の保全や、公園緑地の整備、民間に対する緑化誘導等による緑の創出、それぞれの取組の主体として役割を担ってきました。

都は、令和2年（2020年）3月、都市における生産緑地、樹林地等の保全や新たな緑の創出などにより、緑を一層豊かにし、ゆとりと潤いのある東京の実現に資する事業に要する資金に充てるため、区市町村による緑の保全・創出の取組等の支援に活用できる緑あふれる東京基金を設置しました。基金の活用にあたっては、都市部を中心とした緑の量の増加及び減少の抑制に資する事業の中で、生産緑地2022年問題への対応、新しい日常にも対応した公園不足地域の解消、貴重な自然を保全する広域的な緑のネットワークの確保等、特に緊急の対応が求められる東京の緑が直面する課題の解決につながる事業に対して優先的に充当していきます。

1.3. 『未来の東京』戦略』（令和3年（2021年）3月策定）

東京都は、令和3年（2021年）3月に、新たな都政の羅針盤として、都の総合計画となる『未来の東京』戦略』を策定しました。

『未来の東京』戦略』では、目指す2040年代の東京の姿である「ビジョン」及びこの「ビジョン」を実現する2030年に向けた「戦略」と戦略実行のための「推進プロジェクト」を提示しました。あわせて、推進プロジェクトごとにSDGsの17のゴールとの関係を示しました。

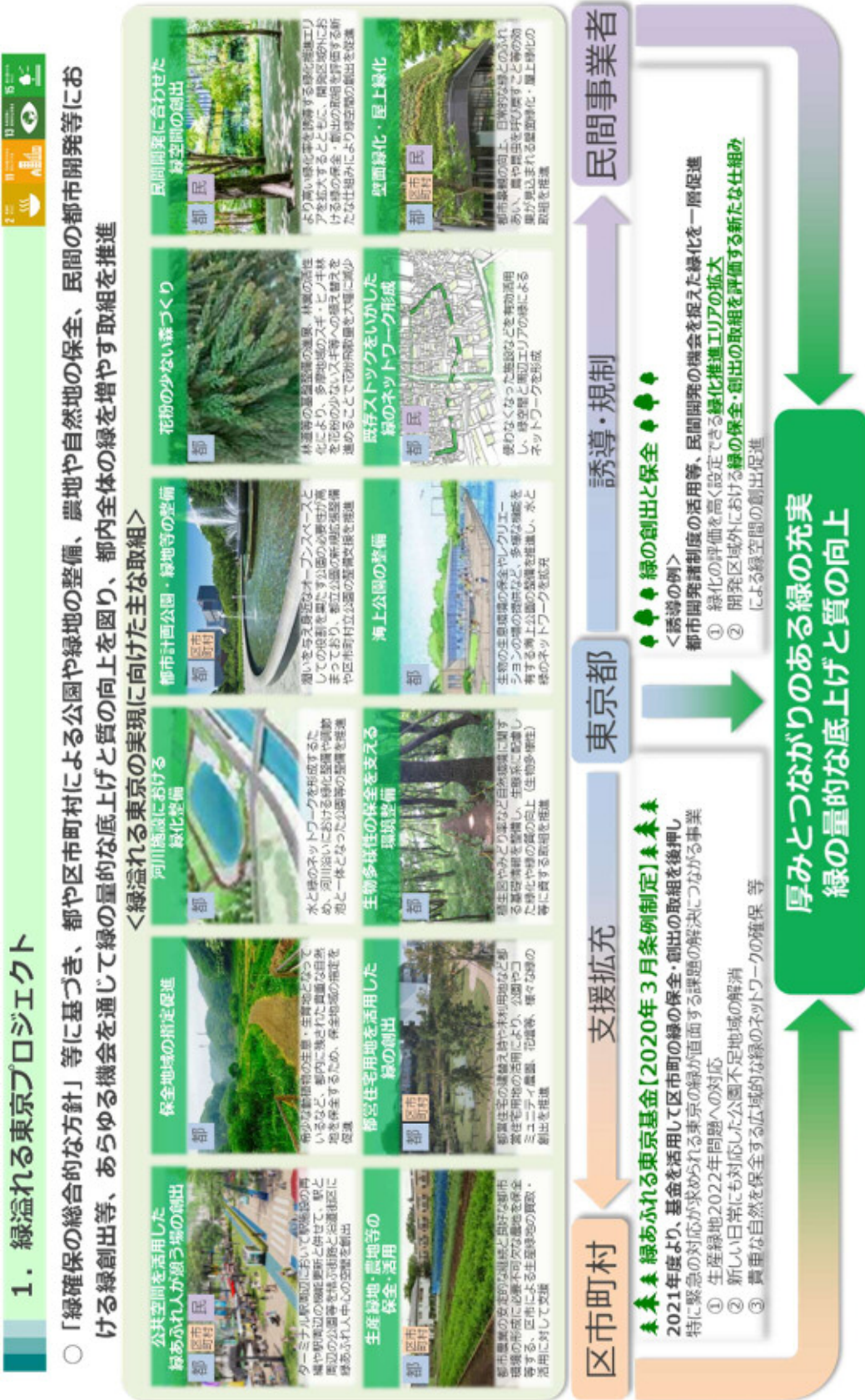


本戦略の一つである「水と緑溢れる東京戦略」では、その実現に向けて、これまでの推進チームにおける検討等を踏まえ、「緑溢れる東京プロジェクト」を推進し、東京都のほか、区市町村や民間事業者が連携して、あらゆる機会を通じて緑の量的な底上げと質の向上を図り、都内全域で緑を増やす取組を進めていくこととしています。「緑溢れる東京プロジェクト」の内容を p.5 に示します。

また、『『未来の東京』戦略』では、区市町村や地域とともに「未来の東京」を築き上げることを掲げており、「緑溢れる東京プロジェクト」は「区市町村との連携を核にした主なプロジェクト」の一つに位置付けられています。「区市町村との連携を核にした主なプロジェクト」を p.6 に示します。



■ 『未来の東京』戦略」P.261
 戦略13 緑溢れる東京戦略 1. 緑溢れる東京プロジェクト





■ 『未来の東京』戦略』 P.343 区市町村との連携を核にした主なプロジェクト

区市町村との連携を核にした主なプロジェクト

<p>子育てに全力で取り組む区市町村徹底支援プロジェクト【戦略1】</p> <p>▶ 「世界で最も子供に優しく、子供がすくすくと育つまち」を実現するため、都内区市町村の手上げ方式で、子供・子育て世代との対話等を通じた、先導的で意欲的な子供目線・子育てのための政策や子育てに優しいまちづくりの推進を、都が徹底的に支援し、都内全域に展開</p>	<p>「みんなの居場所」創出プロジェクト【戦略7】</p> <p>▶ 子供・若者、子育て中の方、外国人、高齢者、一人暮らしの方など様々な人が集い、交わり、悩みを分かち合える様々な形の「居場所」を、リアルとオンラインで双方の強みを活かして地域の至る所に創出する区市町村の取組を強力に支援</p>
<p>自分らしく暮らせる“Chōju”東京プロジェクト【戦略4】</p> <p>▶ 高齢者をはじめ、誰もが元気で心豊かに、自分らしく暮らせる地域の実現に向けて、意欲ある区市町村が多様な主体と連携し、地域資源を活用しながら、デジタルデバイス対策や幅広いデジタル活用により、QOL向上を図る取組等を都が強力に支援。成果検証し、都内全域に展開</p>	<p>人中心の歩きやすいまちづくりプロジェクト【戦略9】</p> <p>▶ 道路や公園等の公共的な空間を活用したにぎわい創出に向け、地域のエリアマネジメント団体や区市と連携した「パーク・ストリート東京」などの取組を推進</p>
<p>移動困難者の生活サポートプロジェクト【戦略4】</p> <p>▶ 誰もが移動しやすい利便性の高い都市の実現に向け、地域の効率的な公共交通ネットワークの形成を促進</p>	<p>地域特性に応じたスマートなまちづくりの展開【戦略9】</p> <p>▶ 人が快適に暮らせるコンパクトでスマートな都市を実現するため、土地利用を組み合わせた地域のまちづくりを促進し、バスやタクシー、デマンド交通、自転車などの交通モードと最先端技術の組合せ等を支援・促進し、駅等を中心とした誰もが移動しやすい交通環境の充実を図る</p>
<p>日本人と外国人が仲良く暮らせるまち創出プロジェクト【戦略6】</p> <p>▶ 東京に暮らす外国人が日本の文化や生活ルールを理解し、日本人自らも外国人の生活習慣等を理解するなど、双方が相互理解を深め、共に快適に暮らすまちを実現するため、強化した推進体制の下、区市町村、町会・自治会等と連携し、重層的な多文化共生施策を展開</p>	<p>緑溢れる東京プロジェクト【戦略13】</p> <p>▶ 「緑確保の総合的な方針」等に基づき、都や区市町村による公園や緑地の整備、農地や自然地の保全、民間の都市開発等における緑創出等、あらゆる機会を通じて緑の量的な底上げと質の向上を図り、都内全体の緑を増やす取組を進めていく</p>
<p>ユニバーサルデザインのまちづくりプロジェクト【戦略6】</p> <p>▶ 東京2020大会に向け、競技会場周辺、鉄道駅、宿泊施設などを中心に進めてきたハード・ソフト両面のバリアフリーのまちづくりを、都市のレガシーとして発展させる観点から、改正バリアフリー法に基づく移動等円滑化促進方針(マスタープラン)やバリアフリー基本構想における区市町村の取組を強力に支援し、都内各地にユニバーサルデザインのまちづくりを展開</p>	<p>持続可能な資源利用推進プロジェクト【戦略14】</p> <p>▶ 使い捨てプラスチックの削減や循環利用の徹底のため、家庭から排出されるプラスチック製容器包装について、区市町村における分別収集の拡大やリサイクル率向上に向けた取組を強力に後押し</p> <p>▶ 食品ロスを削減し、無駄のない食を実現するため、防災備蓄食品を保有する区市町村とフードバンクをマッチングするシステムを活用し、賞味期限の近い防災備蓄食品の有効利用を推進</p>